

サッカージュニアユース、姫路のチーム初の全国へ

8月14日に福島県で開催する中学生の年代(15歳以下)のサッカー日本一を決める第25回日本クラブユースサッカー選手権大会に、エストレラ姫路のジュニアユースチームが初出場する。

エストレラ姫路は2000年、姫路市内の高校の指導者らが中心となって設立。現在、ジュニアユースチームには主に西播、東播地区の中学生ら約80人が所属する。週5日、新日鉄広畑のグラウンドで午後7時から2時間の練習を重ね、組織力に磨きをかけてきた。

予選の関西大会には32チームが出場。関西はヴィッセル神戸やガンバ大阪などJリーグの下部組織のチームがしのぎを削る激戦区だが、エストレラ姫路は組織力を生かした戦いで4位に食い込み、5位までの全国大会出場切符を手にした。「一戦ごとにチームが成長していった」と清水靖志監督(40)。

全国大会は9地域の代表32チームが争う。主将の安室中3年、都出航君(15)は「一つでも勝って上を目指したい」と意気込んでいる。

(中西大二)



神戸新聞 (2010/07/15 09:15)

日本クラブユースサッカー選手権大会初出場を決めた
エストレラ姫路のメンバー = 姫路市、新日鉄広畑グラウンド